

語り合おう、全国の木育の今と未来

「ウッドスタート」で
子どもの未来と日本のくらしを考える。

第1回木育サミット
開催風景

第3回

初の地方開催

全国木育サミット

in 信州しおじり

2016.3.11 [金] MOKUIKU
summit 2016

東京おもちゃ美術館
林野庁補助事業

開催場所 レザンホール(塩尻市文化会館)

参加費 無料

参加予約申し込み webにて受付中 ※当チラシの裏面をご確認ください。

お問い合わせ:
認定NPO法人日本グッド・トイ委員会事務局

tel:03-5367-9601 fax:03-5367-9602
Email:ms@mokuikulabo.info

木育サミット

検索



Shiojiri, Nagano Prefecture

第3回

全国木育サミット

木育でつながる命と絆を 「アルプスの麓」から考える。

木に親しみ、木を活かし、木と共に生きていく「木育」の活動を、多くの人に知ってもらうための木育サミット。今回は初の地方開催ということで、「アルプスの麓」長野県塩尻市から木育の最新情報を発信していきます。「暮らし」、「あそび」、「まなび」の視点から木育を推進されている方々にその取り組みをご紹介いただくことで、木育を更に広めていくためのヒントをつかむ機会とし、また日本各地で木育に取り組む方々に一堂に会してもらうことで、木育の活動を行う人たちのネットワークを強化していくきっかけにしたいと思います。

「ウッドスタート」とは？

「木」を活用した子育て・子育て環境を整備し、子どもをはじめとするすべての人たちが、木のぬくもりを感じながら、楽しく豊かに暮らしていけることができるようにしていく取組のこと。子育てサロンの木質化・木育化や、誕生祝い品に木製玩具をプレゼントする事業など、今、全国各地で地域材を活用した「木育」の取組が始まっています。特に本年度は企業と自治体の木育コラボレーションの実現に向けた「お見合い」を積極的に推進中です。

□参考情報

26自治体、12団体

※一部予定も含む

東京おもちゃ美術館と「ウッドスタート宣言書」を交わした自治体及び企業・団体の数です*。行政、企業などさまざまな枠組みを超え、ウッドスタートの輪が広がっていきます。

約4,000個

日本中に支給された誕生祝い品の数です。赤ちゃんに新しく届いた木のおもちゃが生まれ出した笑顔の数は、さらに2倍、3倍と大きな数を産み出しています。



多田 千尋 認定 NPO 法人日本グッド・トイ委員会 理事長・東京おもちゃ美術館 館長・主催者代表

2013年度から開催されている全国木育サミット。木育の最新情報の発信源であるこの大会を、豊富な森に囲まれた街、塩尻にて開催できることを大変喜ばしく思います。くらしの中に、社会の中に木を取り入れよう運動であるウッドスタートに参画して下さる市町村・企業が一堂に会することは、木育に大きなエネルギーを与えます。

日本グッド・トイ委員会はウッドスタートの目的を「木を通じた家族応援」であることを明確にいたしました。木を使い、木と遊び、木と触れ合うことで、森林とくらしが結びつき、家族がより幸せになっていくことを推進します。そのサポーターが結集し、知恵比べをしていくことは、サミットの名に相応しい集いとなります。多くの方々のご参加を期待しております。



小口 利幸 塩尻市長

「第3回全国木育サミット」が、本市において開催されますこと大変嬉しく存じます。

本市は、平成25年度にウッドスタートを宣言し、本年度から新生児への木のおもちゃプレゼントを開始するなど、木育に関する取り組みを進めています。また、市の総面積の約8割を占める豊かな森林の恵みを生かし、木のぬくもりを感じながら暮らしていけるまち「選ばれ続ける田園都市」を目指しています。

今回のサミットが、木育の今後を考える機会となることを期待いたしますとともに、多くの皆様のご来場を心からお待ちしております。



山田 正治 塩尻商工会議所会頭

初の地方開催となる「第3回全国木育サミット」が塩尻で開催されることになり、大変光栄に思っております。

5年目となる「木育フェスティバルイン信州しおじり」を中心に、塩尻市のウッドスタート事業も始まり、徐々に市民の認知度を上げてきている中で、「日本ど真ん中」を称するこの地に全国の木育関係者が集まり、有意義な情報交換が行われ、人的ネットワークを構築することで、さらに木育が全国的な拡がりを見せるような起爆剤になればと願っております。

皆様の笑顔と出会うために塩尻流のおもてなしでご来場をお待ちしています。

PICK UP

特別公演

「心に木を植える」C.W.ニコル

環境問題や海洋哺乳類の調査など、世界中の国々で様々な問題に取り組み、また長野県の「アファンの森」の再生活動などで著名な同氏をお招きし、第3回木育サミットの特別公演として、豊富な経験に基づく「木のこと、森のこと」をお話いただきます。

作家・ナチュラリスト。

英国ウェールズ生まれ。17才でカナダへ渡り、その後、カナダ水産調査局北極生物研究所の技官として、海洋哺乳類の調査研究にあたる。エチオピア帝国政府野生動物保護省の猟区主任管理官、カナダ水産調査局淡水研究所の主任技官などの経歴を経て1980年より長野県黒姫に居を定め、自ら荒れた森を購入し、「アファンの森」と名付け、生態系の復活を試みる作業を開始する。2011年「アファンの森」が日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に登録。



10:00

開会挨拶

主催者挨拶：多田 千尋（東京おもちゃ美術館館長）

開催地代表挨拶：小口 利幸（塩尻市長）

実行委員長挨拶：山田 正治（塩尻商工会議所会頭）



10:15

基調講演

今井 敏（林野庁長官）



10:30

特別公演

「心に木を植える」C.W.ニコル（作家・ナチュラリスト）



11:30

ワークショップセッション

木育サミットお申し込み時に、右記の14メニューの内から一つ選択ください。先着順に受付。定員になり次第締切ります。

12:30 昼食・休憩 ※お弁当をご用意しております。希望される方は併せてフォームにてご選択ください。



13:30

セッションⅠ：「くらし」と木育

清水 智（株式会社良品計画 取締役 執行役員 東アジア事業部長）

長谷川 泰治（株式会社長谷萬 副社長）

椎川 忍（一般財団法人地域活性化センター 理事長）

座長：水谷 伸吉（一般社団法人モア・トゥリーズ 事務局長）



15:00

セッションⅡ：「まなび」、「あそび」と木育

若杉 浩一（パワープレイス株式会社 シニアディレクター）

竹内 延彦（長野県県民文化部次世代サポート課 企画幹）

浅田 茂裕（埼玉大学教育学部 教授）

座長：多田 千尋（東京おもちゃ美術館 館長）



16:15

クロージング

総括：山下 晃功（島根大学 名誉教授）

16:30 終了



基調講演：
今井 敏（林野庁長官）



オプション：3月12日（土）

「木の文化」体感ツアー in 塩尻

木育サミット参加者の皆さま限定で、サミット翌日の12（土）に、塩尻の森のめぐみ、木の文化などを存分に体感できるツアーにご参加いただけます。

【訪問予定場所】

- 奈良井宿…重要伝統的建造物群保存地区とされている宿場町約1kmを散策。
- ワイナリー見学…桔梗ヶ原にあるワイナリーの見学、試飲、お買い物。

●定員：50名 ●参加費：無料（食事代等各自負担）

※ツアーを希望される方は、「木育サミット2016」を申し込み時に、併せてフォームにてご選択ください。

※詳細は木育サミット2016のホームページ上にてご確認ください。

01 森から考える 子どもたちの未来・日本の未来 定員：200人

C.W.ニコルさんの特別講演を受けて、新たに2人のナチュラリストを加えてディスカッションを行います。国産材にこだわった家具・おもちゃの製作、そして最近では国産アロマの生産に傾注しているオークヴィレッジ会長の稲本正さん。もう一人は生態計画研究所主任研究員の村松亜希子さん。自然と人をつなぐインタプリターとして活躍しながら、2児の母として八ヶ岳の自然の中で育児真っ最中。もちろんニコルさんも加わり、3人で森から子どもたちの未来、日本の未来を考えます。

C.W.ニコル(作家・ナチュラリスト)、稲本 正(オークヴィレッジ株式会社会長)、村松 亜希子(生態計画研究所主任研究員) コーディネーター:馬場 清(NPO法人日本グッド・トイ委員会事務局長)



C.W.ニコル氏



稲本 正氏



村松 亜希子氏

02 かなのことは俺たちに語らせろ！ ～木を大切に削るコツ～

素晴らしい道具があったからこそ、伝統的な木材加工技術が発展してきました。2大巨頭が語るかなの神髄と削りの妙技を肌で感じて下さい。

長野県上松技術専門学校 校長 上條 勝
島根大学 名誉教授 山下 晃功

定員：50人



03 塩尻の木育推進がうまくいっている理由

なぜ商工会議所が木育に関わるのか。「ひと」をつなげ、「ひと」が支える塩尻流木育推進のやり方を教えます！

塩尻商工会議所
総務課長 海津 健司

定員：50人



04 全国の生産者による 木育の取り組み 定員：20人

国内の木や竹を活用し、技術道具を継承してものづくりを行う工場が参加する木育全国生産者協議会のメンバーと話しませんか。

株式会社佐龍 池 龍昇社長、小岩商店 小岩 寛代表
株式会社酒井産業 酒井 久徳専務・西片 睦実事務局長



05 塩尻市の保育園 木育の取り組みの紹介

木育を推進しウッドスタート宣言をした塩尻市、自治体支援センターや保育園の事例報告に加え、大学附属幼稚園の子どもの変化をお伝えします。

掛川 佳子所長、大和 由理子園長
山本 厚一園長、小原(酒井産業)

定員：20人



06 森林を利用した体験活動の具体例と 簡易ツリーハウスづくりの実践

森林を活用した自然体験プログラムの活用例を、対象年齢別にご紹介し、代表的な活動(ツリーハウス作り)を室内で実践してみます。

信州外あそびネットワーク代表
田口 真嗣

定員：100人



07 木育おもちゃ産業プロジェクト について

木曾の木製おもちゃ開発を始めとした新たな産業創出&国内外市場開拓の紹介とディスカッション。

株式会社Tree to Green 取締役
小瀬木 隆典

定員：20人



08 ～森と生きる 森を生かす～ 塩尻市の森林再生へのチャレンジ

木質バイオマスエネルギーについてみんなで考えてみませんか？塩尻市が取り組む林業再生事業をご紹介します。

塩尻市役所 FPプロジェクト主任 小澤 亮
塩尻市役所 林業振興係長 西窪 美彦

定員：30人



09 林業会社の木育事業報告会： リアルに都市住民と山をつなぐ「木育」

林業会社ならではの木とふれあう体験を通じた木育活動のご紹介。木を好きになる取り組みです。

株式会社東京チェンソーズ
代表取締役 青木 亮輔

定員：20人



10 「木育」による町おこしを。 ウッド・スタートははじめませんか？

ウッドスタート宣言をしている自治体・企業からの実況報告と、新たなウッドスタートへの個別相談会を開催します！

NPO法人日本グッド・トイ委員会
ウッドスタート事業部 遠藤 智史

定員：30人



11 森と人をつなげる人力の木工 「グリーンウッドワーク」の可能性

森の樹が暮らしの道具に早変わり、人力の木工グリーンウッドワークの活動紹介と椅子づくりの実演を行います。

NPO法人グリーンウッドワーク協会
理事長 小野 敦

定員：20人



12 森を育てる・おもちゃを作る・ 木育を伝える「ぎふ木育」。

定員：20人



「森や木からの学び」を目指す「ぎふ木育30年ビジョン」。このビジョンに向けて林業家・木工家など、木育を考えていく仲間を紹介いたします。

岐阜県木育推進協議会 森田 展之



長野県が取組む自然保育の理念や具体的事例をご紹介します。こどもの成長における自然体験の意義や効果を共有しましょう！

長野県県民文化次世代サポート課企画幹 竹内 延彦

13 信州型 自然保育認定制度 について

定員：100人



14 長野スギダラ 倶楽部

定員：30人

長野県の森林資源を活かす、様々な暑苦しい活動のご紹介。屋台、家具、桶、地元を盛り上げる音が聞こえます。まさにオケストラです。

パワープレイス株式会社 シニアディレクター 若杉 浩一

◆ お申し込み

第3回木育サミット2016は**事前申し込み制**となります。下記手順に沿って、お申し込みください。

① 参加予約フォーム

web上の予約フォームに必要事項をご記入ください。

webアドレス: <http://goodtoy.org/ms2016/>

② 申込み確認・完了

申込み完了後、自動返信メールにて参加証を発行します。当日受付にてご提示ください。

◆ 会場までのアクセス



レザンホール (塩尻市文化会館)

〒399-0738

長野県塩尻市大門七番町4番8号

電車でお越しの方

JR篠ノ井線 塩尻駅より徒歩で約7分

お車でお越しの方

長野自動車道塩尻インターより車で約5分

バスでお越しの方

すてっぷくん(塩尻市地域振興バス)「市役所」停留所から徒歩1分

◆ 主催者紹介

東京おもちゃ美術館

東京おもちゃ美術館は、おもちゃを手にとり、触れて、遊ぶことができる体験型的美術館です。手作りおもちゃを作ることができる「おもちゃ工房」や、季節のイベントなど、子どもだけではなく、大人も赤ちゃんも多世代で楽しめる、さまざまなコンテンツを取り揃えております。また、国産の木材のみで作られた「おもちゃのもり」や、赤ちゃんが木の匂いや触り心地をふんだんに感じられる「赤ちゃん木育ひろば」など、木育にふさわしいコンテンツを多数そろえております。



〒160-0004 東京都新宿区四谷4-20 四谷ひろば内

tel: 03-5367-9601 fax: 03-5367-9602

<http://www.goodtoy.org/ttm>

INFORMATION

木育情報のポータルサイト **木育ラボ**

これまでの木育活動は、さまざまな団体がそれぞれ取り組みをしてきました。そこで、こうした素晴らしい活動をしている方々の取り組みを紹介し、全国各地に発信していくためのサイトが「木育ラボ」です。このサイトを中心に全国の木育活動をしている組織、団体を結びつけ、より強固な木育ネットワークの構築をめざして活用していきたいと考えています。



<http://mokuikulabo.info/>



当冊子は環境に配慮した「ベジタブルインク」と間伐材を原料として使用した「間伐材紙」で作られています。